

あなたのとるべき避難は？

～withコロナの時代に分散避難と水害を考える～ — 紀南河川国道事務所 —

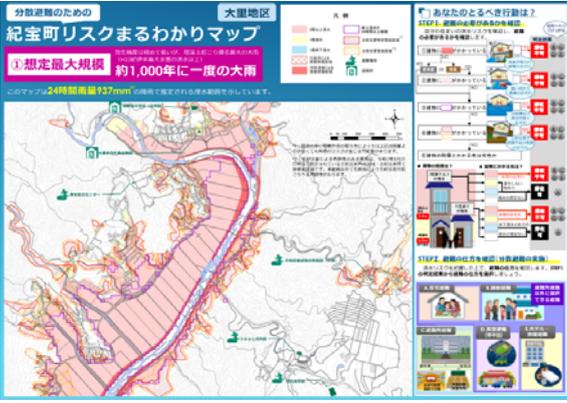
紀南河川国道事務所では、熊野川支川の相野谷川沿川地域の地区タイムライン作成を支援しています。台風接近による地区タイムラインの運用前に、住民が自らの水害リスクを把握し、コロナウイルス感染拡大防止として分散避難を考えるうえで役立つ「紀宝町リスクまるわかりマップ」を作成しました。

今回、紀宝町大里地区の避難所開設・運営訓練に参加し、住民へマップの説明を行いました。

新型コロナ感染流行下の紀宝町大里地区タイムラインにかかる避難所開設・運営訓練

日時：令和2年7月5日(日) 8:30～12:30
会場：大里多目的集会施設（三重県南牟婁郡紀宝町）
主催：大里地区4自主防災会・紀宝町（後援：紀南河川国道事務所）
アドバイザー：東京大学大学院 客員教授松尾 一郎 氏
伊勢赤十字病院救命救急センター 医師 森本 真之介 氏
(災害派遣医療チームDMAT)

位置図



マップは①想定最大規模、②H23紀伊半島大水害、③計画規模の3種類あり、予想される24時間雨量から最も近いマップを選択して、浸水範囲を確認できます。

紀宝町リスクまるわかりマップ

浸水域や浸水深等の水害リスクを正確に把握し、フロー形式で最適な分散避難の方法を確認できる、住民が分散避難を考える際に役立つ情報を一枚にとりまとめたマップです。

マップの使い方

- ①24時間予測降雨量から最も近いマップを選択。
- ②マップから浸水域や自宅の浸水深を確認し、フローに沿って避難の可否を判断。
- ③避難所避難以外も含めた分散避難を検討。

あなたのとるべき行動は？

STEP1. 避難の必要があるかを確認
自分の住まいの洪水リスクを確認し、避難の必要があるかを確認します。

判定結果
避難の仕方 STEP2参照

①建物に [] がかかっている
YES → 浸在不可 (B, C, D, E)
NO → 地面が濡られ部屋のおそれ

②建物に [] がかかっている
YES → 浸在不可 (B, C, D, E)
NO → 瓦いれて倒壊のおそれ

③建物に [] がかかっている
YES → 浸在不可 (B, C, D, E)
NO → 24時間以上浸水が継続のおそれ

④建物に [] がかかっている
YES → 浸在不可 (B, C, D, E)
NO → 土砂災害で倒壊や命の危険のおそれ

⑤建物の階層とかかる色は何色か

● 建物の階層は？ ● 建物にかかる色は？

2階建て以上の場合	水没のおそれ	浸在不可 (B, C, D, E)
	浸水しない	浸在可 (A)
	浸水の想定なし	浸在可 (A)
2階以上浸水 (3.0m)	水没のおそれ	浸在不可 (B, C, D, E)
	床下浸水のおそれ	浸在可 (A)
1階浸水 (0.5m) 床下浸水	浸水の想定なし	浸在可 (A)

STEP2. 避難の仕方を確認 (分散避難の実施)
洪水リスクを把握した上で、避難の仕方を確認します。STEP1の判定結果から避難の仕方を選択しましょう。

A. 在宅避難
B. 緑故避難
C. 避難所避難
D. 青空避難 (車中泊)
E. ホテル・旅館避難

避難所避難以外に選択できる避難

健康者 疑念染
社会的距離 空間的分離 (取組あり)



【問い合わせ先】
国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 調査課
〒646-0003 和歌山県田辺市中万呂142
TEL 0739-22-4813

